

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2024年6月10日まで（2014年8月18日設定）	
運用方針	アセアン真成長株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、アセアン諸国の株式等（預託証券（DR）を含みます。）を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	アセアン真成長株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アセアン諸国の株式等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。） </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

アセアン真成長株式ファンド

第12期（決算日：2020年6月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「アセアン真成長株式ファンド」は、去る6月10日に第12期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	期騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期(2018年6月11日)	10,589	10	△ 4.7	90,129.77	△ 3.9	96.2	—	2,546
9期(2018年12月10日)	9,790	10	△ 7.5	86,163.32	△ 4.4	95.2	—	2,242
10期(2019年6月10日)	9,798	10	0.2	85,153.47	△ 1.2	91.1	—	2,196
11期(2019年12月10日)	9,565	10	△ 2.3	84,403.99	△ 0.9	94.2	—	2,052
12期(2020年6月10日)	8,534	10	△10.7	72,905.92	△13.6	93.1	—	1,762

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI AC ASEAN Indexとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5ヵ国の株式で構成されています。MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)は、MSCI AC ASEAN Indexをもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI AC ASEAN Indexに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2019年12月10日	円 9,565	% —	84,403.99	% —	% 94.2	% —
12月末	9,868	3.2	87,432.17	3.6	93.5	—
2020年1月末	9,651	0.9	83,838.78	△ 0.7	93.7	—
2月末	9,048	△ 5.4	77,707.34	△ 7.9	89.9	—
3月末	6,668	△30.3	58,425.39	△30.8	90.3	—
4月末	7,280	△23.9	62,670.71	△25.7	93.2	—
5月末	7,750	△19.0	64,987.91	△23.0	92.9	—
(期 末) 2020年6月10日	8,544	△10.7	72,905.92	△13.6	93.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第12期：2019年12月11日～2020年6月10日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第12期首	9,565円
第12期末	8,534円
既払分配金	10円
騰落率	-10.7%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ10.7%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

> 基準価額の主な変動要因**下落要因**

TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER や DBS GROUP HOLDINGS LTDなど保有銘柄の株価下落が、基準価額の下落要因となりました。

第12期：2019年12月11日～2020年6月10日

投資環境について

▶ アセアン株式市況

アセアン株式市況は下落しました。

2020年3月中旬にかけて、中国での新型コロナウイルスが他の国や地域へ感染拡大し、世界的に経済活動が停滞することへの懸念が高まったことや、主要産油国による協調減産交渉が決裂したことなどを背景に原油価格が急落したことなどから、株式相場は下落しました。その後、各国中央銀行による積極的な金融緩和や

各国政府による支援策が好感されたことや、ワクチン開発への期待が高まったこと、一部地域で経済活動が再開されるとの期待が高まったことなどから上昇しました。

▶ 為替市況

円に対してフィリピンペソやインドネシアルピアが概ね横ばいとなった一方、その他の投資先通貨は下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ アセアン真成長株式ファンド

アセアン真成長株式マザーファンド受益証券を通じてアセアン諸国の株式に投資しました。

▶ アセアン真成長株式マザーファンド

アセアン諸国において、人口動態や所得増加などを背景に構造的な個人消費の増加やインフラ投資の拡大が期待されるなか、中長期的な利益成長性を重視した銘柄選定を行いました。

投資行動としては、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う航空旅客需要の減少を背景に当初想定していた業績成長は困難と判断し、フィリピンで空港運営と建設事業を手掛ける「MEGAWIDE CONSTRUCTION CORP」（フィリピ

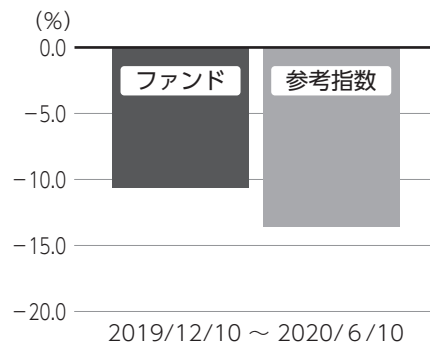
ン）などを全部売却しました。一方、出店拡大による売上増加などを背景に持続的な業績成長が期待できると判断し、シンガポールの食料品チェーン会社「SHENG SIONG GROUP LTD」（シンガポール）などを新規に買い付けました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI AC ASEAN Index（円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第12期
	2019年12月11日～2020年6月10日
当期分配金（対基準価額比率）	10 (0.117%)
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,225

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ アセアン真成長株式ファンド

アセアン真成長株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

▶ アセアン真成長株式マザーファンド

新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化や感染第2波への懸念に加えて、米中摩擦の再燃リスクが浮上しています。一方で、アジア各国のみならず世界各国の政府および中央銀行が追加の財政政策と金融政策を講じていることや、中国をはじめ一部の地域では経済活動の再開に向けた動きが見られることから、当面は値動きの荒い相場展開を想定しています。アセアン各国の実体経済については、中長期的に購買力の向上を背景とした消費増加や政府主導のインフラ投資の拡大などを背景に堅調に推移すると考えられ、企業業績についても増益になると見込んでおり、株式相場はこれらを反映し堅調に推移すると想定しています。

このような見通しを背景に、安定して成長を遂げる企業群に着目した投資を行う方針です。消費やインフラ関連銘柄を中心とした銘柄選別に注力し運用する方針です。

2019年12月11日～2020年6月10日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	72	0.859	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(37)	(0.443)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.388)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	9	0.103	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(9)	(0.101)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	4	0.043	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(4)	(0.042)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	11	0.134	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(11)	(0.132)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	96	1.139	

期中の平均基準価額は、8,430円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

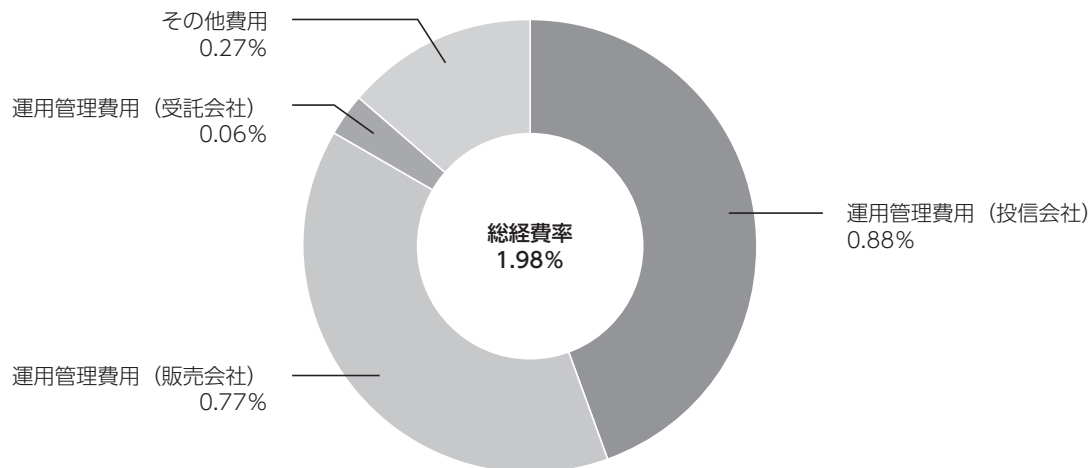
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.98%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年12月11日～2020年6月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
アセアン真成長株式マザーファンド	千口 15,496	千円 16,805	千口 106,238	千円 106,518

○株式売買比率

(2019年12月11日～2020年6月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	アセアン真成長株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	796,606千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,624,632千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.49	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月11日～2020年6月10日)

利害関係人との取引状況

<アセアン真成長株式ファンド>

該当事項はございません。

<アセアン真成長株式マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 530	百万円 44	% 8.3	百万円 609	百万円 5	% 0.8

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF証券です。

○組入資産の明細

(2020年6月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アセアン真成長株式マザーファンド	千口 1,926,217	千口 1,835,474	千円 1,754,897

○投資信託財産の構成

(2020年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
アセアン真成長株式マザーファンド	千円 1,754,897	% 98.6
コール・ローン等、その他	24,946	1.4
投資信託財産総額	1,779,843	100.0

(注) アセアン真成長株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(1,754,503千円)の投資信託財産総額(1,754,980千円)に対する比率は100.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.79円	1 シンガポールドル=77.59円	1 マレーシアリングギット=25.23円	1 タイバーツ=3.45円
1 フィリピンペソ=2.16円	100インドネシアルピア=0.78円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,779,843,588
コール・ローン等	24,946,004
アセアン真成長株式マザーファンド(評価額)	1,754,897,584
(B) 負債	17,307,229
未払収益分配金	2,065,365
未払解約金	272
未払信託報酬	15,211,198
未払利息	33
その他未払費用	30,361
(C) 純資産総額(A-B)	1,762,536,359
元本	2,065,365,953
次期繰越損益金	△ 302,829,594
(D) 受益権総口数	2,065,365,953口
1万口当たり基準価額(C/D)	8.534円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,145,954,504円
 期中追加設定元本額 46,609,063円
 期中一部解約元本額 127,197,614円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8534円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は302,829,594円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年12月11日～ 2020年6月10日
費用控除後の配当等収益額	9,799,869円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円
収益調整金額	164,865,610円
分配準備積立金額	80,560,550円
当ファンドの分配対象収益額	255,226,029円
1万口当たり収益分配対象額	1,235円
1万口当たり分配金額	10円
収益分配金金額	2,065,365円

○損益の状況 (2019年12月11日～2020年6月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,135
受取利息	56
支払利息	△ 3,191
(B) 有価証券売買損益	△193,130,369
売買益	12,526,612
売買損	△205,656,981
(C) 信託報酬等	△ 15,241,559
(D) 当期損益金(A+B+C)	△208,375,063
(E) 前期繰越損益金	△260,641,761
(F) 追加信託差損益金	168,252,595
(配当等相当額)	(164,794,136)
(売買損益相当額)	(3,458,459)
(G) 計(D+E+F)	△300,764,229
(H) 収益分配金	△ 2,065,365
次期繰越損益金(G+H)	△302,829,594
追加信託差損益金	168,252,595
(配当等相当額)	(164,865,610)
(売買損益相当額)	(3,386,985)
分配準備積立金	88,295,054
繰越損益金	△559,377,243

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2020年6月10日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お 知 ら せ]

アセアン真成長株式マザーファンドについて、Mitsubishi UFJ Investment Services (HK) Limitedとの投資助言契約を2020年3月9日付で解約し、2020年3月10日付で三菱UFJ信託銀行（シンガポール支店）との間で新たに投資助言契約を締結しました。なお、投資助言先の変更に伴う運用の実質的な変更はありません。

アセアン真成長株式マザーファンド

《第12期》決算日2020年6月10日

[計算期間：2019年12月11日～2020年6月10日]

「アセアン真成長株式マザーファンド」は、6月10日に第12期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	アセアン諸国の株式等（預託証書（DR）を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。株式等への投資にあたっては、事業の安定性・成長性等に着目して銘柄選定を行います。株式等の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用にあたっては、三菱UFJ信託銀行（シンガポール支店）から投資助言を受け、三菱UFJ国際投信が運用します。
主 要 運 用 対 象	アセアン諸国の株式等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		（ 参 考 指 数 ）		株 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰 落 中 率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰 落 中 率			
8期(2018年6月11日)	11,437	△ 3.8 %	90,129.77	△ 3.9 %	96.4 %	— %	2,557 百万円
9期(2018年12月10日)	10,674	△ 6.7 %	86,163.32	△ 4.4 %	95.4 %	— %	2,246
10期(2019年6月10日)	10,786	1.0 %	85,153.47	△ 1.2 %	91.3 %	— %	2,199
11期(2019年12月10日)	10,631	△ 1.4 %	84,403.99	△ 0.9 %	94.4 %	— %	2,047
12期(2020年6月10日)	9,561	△10.1 %	72,905.92	△13.6 %	93.5 %	— %	1,754

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI AC ASEAN Indexとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国の株式で構成されています。MSCI AC ASEAN Index（円換算ベース）は、MSCI AC ASEAN Indexをもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI AC ASEAN Indexに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年12月10日	円	%	84,403.99	%	%	%
12月末	10,631	—	87,432.17	—	94.4	—
2020年1月末	10,980	3.3	83,838.78	△ 0.7	93.7	—
2月末	10,754	1.2	77,707.34	△ 7.9	93.9	—
3月末	10,090	△ 5.1	58,425.39	△ 30.8	90.6	—
4月末	7,428	△ 30.1	62,670.71	△ 25.7	90.8	—
5月末	8,125	△ 23.6	64,987.91	△ 23.0	93.6	—
5月末	8,664	△ 18.5			93.3	—
(期 末) 2020年6月10日			72,905.92	△ 13.6	93.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

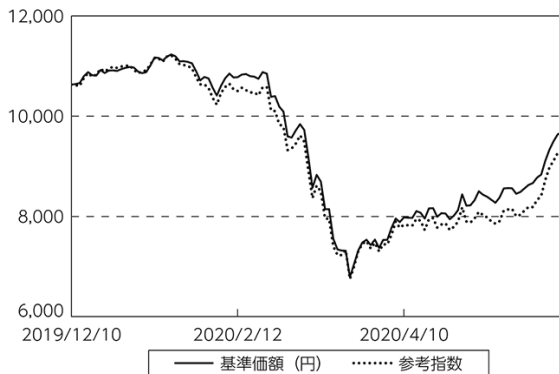
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ10.1%の下落となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の変化要因

(下落要因)

TELEKOMUNIKASI INDONESIA PERやDBS GROUP HOLDINGS LTDなど保有銘柄の株価下落が、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎アセアン株式市場

- ・アセアン株式市場は下落しました。
- ・2020年3月中旬にかけて、中国での新型コロナウイルスが他の国や地域へ感染拡大し、世界的に経済活動が停滞することへの懸念が高まったことや、主要産油国による協調減産交渉が決裂したことなどを背景に原油価格が急落したことなどから、株式相場は下落しました。その後、各国中央銀行による積極的な金融緩和や各国政府による支援策が好感されたことや、ワクチン開発への期待が高まったこと、一部地域で経済活動が再開されるとの期待が高まったことなどから上昇しました。

◎為替市況

- ・円に対してフィリピンペソやインドネシアルピアが概ね横ばいとなった一方、その他の投資先通貨は下落しました。
- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・アセアン諸国において、人口動態や所得増加などを背景に構造的な個人消費の増加やインフラ投資の拡大が期待されるなか、中長期的な利益成長性を重視した銘柄選定を行いました。
 - ・投資行動としては、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う航空旅客需要の減少を背景に当初想定していた業績成長は困難と判断し、フィリピンで空港運営と建設事業を手掛ける「MEGAWIDE CONSTRUCTION CORP」（フィリピン）などを全部売却しました。一方、出店拡大による売上増加などを背景に持続的な業績成長が期待できると判断し、シンガポールの食料品チェーン会社「SHENG SIONG GROUP LTD」（シンガポール）などを新規に買い付けました。

○今後の運用方針

- ・新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化や感染第2波への懸念に加えて、米中摩擦の再燃リスクが浮上しています。一方で、アジア各国のみならず世界各国の政府および中央銀行が追加の財政政策と金融政策を講じていることや、中国をはじめ一部の地域では経済活動の再開に向けた動きが見られることから、当面は値動きの荒い相場展開を想定しています。アセアン各国の実体経済については、中長期的に購買力の向上を背景とした消費増加や政府主導のインフラ投資の拡大などを背景に堅調に推移すると考えられ、企業業績についても増益になると見込んでおり、株式相場はこれらを反映し堅調に推移すると想定しています。
- ・このような見通しを背景に、安定して成長を遂げる企業群に着目した投資を行う方針です。消費やインフラ関連銘柄を中心とした銘柄選別に注力し運用する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年12月11日～2020年6月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (新 株 予 約 権 証 券) (投 資 信 託 証 券)	円 10 (10) (0) (0)	% 0.104 (0.101) (0.000) (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (新 株 予 約 権 証 券) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0) (0)	0.043 (0.042) (0.000) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	12 (12)	0.133 (0.133)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	26	0.280	
期中の平均基準価額は、9,398円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年12月11日～2020年6月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	シンガポール	百株 9,055	千シンガポールドル 1,768	百株 2,749	千シンガポールドル 411
	マレーシア	20,952 (2,720)	千マレーシアリンギット 1,606 ()	44,147 ()	千マレーシアリンギット 6,683 (86)
	タイ	19,055	千タイバーツ 28,294	12,616 ()	千タイバーツ 37,711 (60)
	フィリピン	5,249	千フィリピンペソ 22,133	13,844	千フィリピンペソ 32,090
	インドネシア	11,525	千インドネシアルピア 5,193,925	12,752	千インドネシアルピア 3,855,124

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	マレーシア	証券 — (294,900)	千マレーシアリンギット — (86)	証券 294,900	千マレーシアリンギット 111
	タイ	— (61,100)	千タイバーツ — (60)	61,100	千タイバーツ 52

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株主割当および権利行使等による増減分です。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	シンガポール	千口	千シンガポールドル	千口	千シンガポールドル
	FRASERS CENTREPOINT TRUST	—	—	138	250
	ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	— (—)	— (△0.87231)	—	—
小 計		— (—)	— (△0.87231)	138	250

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分です。

○株式売買比率

(2019年12月11日～2020年6月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	796,606千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,624,632千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.49

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月11日～2020年6月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 44	百万円 44	% 8.3	百万円 609	百万円 5	% 0.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2020年6月10日現在)

外国株式

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(シンガポール)	百株	百株	千シンガポールドル	千円		
OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	1,708	1,708	1,656	128,548	銀行	
DBS GROUP HOLDINGS LTD	853	767	1,760	136,578	銀行	
SINGAPORE TECH ENGINEERING	1,929	1,793	638	49,526	資本財	
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	—	2,035	543	42,158	電気通信サービス	
SINGAPORE EXCHANGE LTD	—	192	160	12,439	各種金融	
UOL GROUP LTD	823	793	584	45,346	不動産	
FIRST RESOURCES LTD	—	1,522	220	17,123	食品・飲料・タバコ	
SHENG SIONG GROUP LTD	—	1,515	233	18,102	食品・生活必需品小売り	
AEM HOLDINGS LTD	—	1,294	399	31,024	半導体・半導体製造装置	
小 計	株 数 ・ 金 額	5,313	11,619	6,197	480,847	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	9	—	<27.4%>	
(マレーシア)			千マレーシアリンギット			
GAMUDA BHD	3,990	2,390	924	23,335	資本財	
PUBLIC BANK BERHAD	773	773	1,343	33,895	銀行	
MALAYSIA AIRPORTS HLDGS BHD	1,245	—	—	—	運輸	
CARLSBERG BREWERY MALAYSIA B	585	397	996	25,140	食品・飲料・タバコ	
QL RESOURCES BHD	1,949	2,106	1,937	48,895	食品・飲料・タバコ	
HARTALEGA HOLDINGS BHD	—	307	384	9,697	ヘルスケア機器・サービス	
SYARIKAT TAKAFUL MALAYSIA KE	1,350	—	—	—	保険	
INARI AMERTRON BHD	4,386	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SERBA DINAMIK HOLDINGS BHD	10,021	4,916	904	22,823	エネルギー	
ELK-DESA RESOURCES	6,735	6,735	956	24,129	各種金融	
MEGA FIRST CORP BHD	2,530	1,947	1,347	33,992	公益事業	
REVENUE GROUP BHD	4,680	1,898	239	6,033	ソフトウェア・サービス	
JOHORE TIN BHD	3,700	—	—	—	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	41,945	21,470	9,034	227,945	
	銘柄 数 < 比 率 >	12	9	—	<13.0%>	
(タイ)			千タイバーツ			
KASIKORNBANK PCL-NVDR	420	420	4,746	16,373	銀行	
CP ALL PCL-NVDR	3,023	3,114	22,265	76,814	食品・生活必需品小売り	
PTT PCL-NVDR	5,209	5,209	20,315	70,087	エネルギー	
AIRPORTS OF THAILAND PC-NVDR	2,733	1,038	6,824	23,545	運輸	
BANGKOK DUSIT MED SERVI-NVDR	2,500	4,750	10,925	37,691	ヘルスケア機器・サービス	
ELECTRICITY GENERA PCL-NVDR	252	—	—	—	公益事業	
BTS GROUP HOLDINGS PCL-NVDR	4,300	6,110	7,270	25,084	運輸	
TIPCO ASPHALT PUB CO L-NVDR	2,660	—	—	—	素材	
VGI PCL-NVDR	10,572	7,772	5,790	19,975	メディア・娯楽	
MUANGTHAI CAPITAL PCL-NVDR	1,757	1,133	6,373	21,987	各種金融	
SABINA PCL-NVDR	2,500	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
JWD INFOLOGISTICS PCL-NVDR	6,250	6,250	4,343	14,985	運輸	
OSOTSPA PCL-NVDR	—	1,082	4,355	15,024	食品・飲料・タバコ	
SISB PCL-NVDR	4,200	5,171	4,653	16,055	消費者サービス	
BANGKOK COMMERCIAL ASSE-NVDR	—	1,000	2,500	8,625	各種金融	
R&B FOOD SUPPLY PCL-NVDR	—	9,766	6,347	21,900	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額	46,376	52,815	106,710	368,152	
	銘柄 数 < 比 率 >	13	13	—	<21.0%>	

銘柄	株数	当 期 末			業 種 等	
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(フィリピン)	百株	百株	千フィリピンペソ	千円		
SM PRIME HOLDINGS INC	4,391	4,628	15,503	33,488	不動産	
AYALA LAND INC	4,218	3,077	11,692	25,256	不動産	
BANK OF THE PHILIPPINE ISLAN	1,910	1,260	9,739	21,037	銀行	
INTL CONTAINER TERM SVCS INC	—	734	7,859	16,975	運輸	
UNIVERSAL ROBINA CORP	—	673	10,032	21,669	食品・飲料・タバコ	
PUREGOLD PRICE CLUB INC	1,850	1,850	8,426	18,201	食品・生活必需品小売り	
MEGAWIDE CONSTRUCTION CORP	2,288	—	—	—	資本財	
DOUBLEDRAGON PROPERTIES CORP	4,019	—	—	—	不動産	
WILCON DEPOT INC	8,471	10,887	17,767	38,377	小売	
MACROASIA CORPORATION	4,557	—	—	—	運輸	
PHILIPPINE SEVEN CORP	334	334	4,581	9,895	食品・生活必需品小売り	
小 計	株 数 ・ 金 額	32,039	23,444	85,603	184,902	
	銘柄 数 < 比 率 >	9	8	—	<10.5%>	
(インドネシア)			千インドネシアルピア			
TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER	23,360	23,360	7,335,040	57,213	電気通信サービス	
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	4,740	5,381	15,618,352	121,823	銀行	
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK	3,842	3,842	3,630,690	28,319	素材	
PAKUWON JATI TBK PT	79,518	74,518	3,383,117	26,388	不動産	
INDOFOOD CBP SUKSES MAKMUR T	3,720	3,212	2,858,680	22,297	食品・飲料・タバコ	
MITRA ADIPERKASA TBK PT	36,400	43,093	3,447,440	26,890	小売	
ACE HARDWARE INDONESIA	20,940	23,301	3,460,198	26,989	小売	
INDUSTRI JAMU DAN FARMASI SI	29,000	29,000	3,799,000	29,632	家庭用品・パーソナル用品	
MITRA KELUARGA KARYASEHAT TB	13,440	13,440	3,292,800	25,683	ヘルスケア機器・サービス	
PURADELTA LESTARI TBK PT	103,000	103,000	1,812,800	14,139	不動産	
INTILAND DEVELOPMENT TBK PT	5,414	—	—	—	不動産	
小 計	株 数 ・ 金 額	323,374	322,147	48,638,118	379,377	
	銘柄 数 < 比 率 >	11	10	—	<21.6%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	449,047	431,495	—	1,641,225	
	銘柄 数 < 比 率 >	49	49	—	<93.5%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末			比 率	
		口 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(シンガポール)	千口	千口	千シンガポールドル	千円	%	
FRASERS CENTREPOINT TRUST	138	—	—	—	—	
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	207	207	677	52,570	3.0	
合 計	口 数 ・ 金 額	345	207	677	52,570	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	1	—	<3.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2020年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 1,641,225	% 93.5
投資証券	52,570	3.0
コール・ローン等、その他	61,185	3.5
投資信託財産総額	1,754,980	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,754,503千円) の投資信託財産総額 (1,754,980千円) に対する比率は100.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.79円	1 シンガポールドル=77.59円	1 マレーシアリングギット=25.23円	1 タイバーツ=3.45円
1 フィリピンペソ=2.16円	100インドネシアルピア=0.78円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 1,754,980,470
コール・ローン等	60,330,318
株式(評価額)	1,641,225,124
投資証券(評価額)	52,570,638
未収配当金	854,390
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	1,754,980,470
元本	1,835,474,934
次期繰越損益金	△ 80,494,464
(D) 受益権総口数	1,835,474,934口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,561円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,926,217,116円
 期中追加設定元本額 15,496,495円
 期中一部解約元本額 106,238,677円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9561円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 アセアン真成長株式ファンド 1,835,474,934円
 ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は80,494,464円です。

○損益の状況 (2019年12月11日～2020年6月10日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 25,944,388
受取配当金	25,948,448
受取利息	397
支払利息	△ 4,457
(B) 有価証券売買損益	△226,644,595
売買益	76,028,018
売買損	△302,672,613
(C) 保管費用等	△ 2,336,026
(D) 当期損益金(A+B+C)	△203,036,233
(E) 前期繰越損益金	121,513,109
(F) 追加信託差損益金	1,308,747
(G) 解約差損益金	△ 280,087
(H) 計(D+E+F+G)	△ 80,494,464
次期繰越損益金(H)	△ 80,494,464

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

[お知らせ]

Mitsubishi UFJ Investment Services (HK) Limitedとの投資助言契約を2020年3月9日付で解約し、2020年3月10日付で三菱UFJ信託銀行(シンガポール支店)との間で新たに投資助言契約を締結しました。なお、投資助言先の変更に伴う運用の実質的な変更はありません。